

技術を核にした事業成長を実現する

技術ロードマップ 構築・活用セミナー

開催日時 **2026年 7月 1日(水)** **2027年 2月18日(木)** **オンライン** 各回とも **10:00~17:00**

対象 • 開発、設計、技術、品質保証部門のマネジャー、スタッフの方

講師

山中 淳一 氏
㈱日本能率協会コンサルティング
チーフ・コンサルタント

参加料(税込)

一般社団法人日本能率協会法人会員	62,150円/1名
上記会員外	73,150円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。
(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認/同意のうえお申込みください。

ねらい

◆ “使える” 技術ロードマップの構築・活用方法を学ぶ

技術ロードマップは、様々なねらいを持って構築されています。

- 中期計画実現率向上 ・標準モジュール適用率向上
- 先行開発遅れ件数低減 ・試作回数削減 等

しかし、現状は先行開発が組織的に推進できない、遅延する、技術ロードマップを作成したが、日常業務と乖離しているといった実態が見受けられます。

そこで本セミナーでは、あらためて技術ロードマップの検討プロセス毎のポイントを取り上げます。

各プロセスの具体的な考え方、手法を学ぶことにより、各社各様の目的に応じた技術ロードマップの構築・活用の実現を目指します。

他社事例を含めた実践的な講義と、実務で活用できるための演習を組んでいますので、具体的なスキルとヒントをお持ち帰りできます。

参加者の声

- 目標に到達するために、有効なツールだと改めて感じた。事例も多くわかりやすかった。
- これまでは帳尻合わせでなんとなく作ってしまっていたところもありました。ゴール設定と計画づくり、明文化などヒントをたくさんいただきました。
- アウトプットの導き方が参考になりました。
- 各部門が作成しているロードマップや計画との運動性がまったくなかったことに気付けた。

■ プログラム

10:00~17:00 [昼食] 12:00~13:00

1 技術ロードマップが求められる背景

- (1) 技術開発部門の状況
- (2) 技術ロードマップとは何か
- (3) よく見られる活用失敗事例から学ぶ

2 技術ロードマップ構築・活用上の課題

- 作成者からみた課題
- 活用する立場からみた課題
- 経営者からみた課題

実習 • 自社・自部門のRM構築・活用レベル診断

3 技術ロードマップの構築・活用方法

- (1) 構築目的の明確化&縦軸の工夫
- (2) 将来動向に関する徹底議論と洞察&情報収集の工夫
- (3) 実現ストーリーの協創&リソースの工夫
- (4) 末端までの共有化&メンテナンスの工夫

4 技術ロードマップ活用事例

5 まとめ

実習 • 技術ロードマップ構築

(ケース演習をおこないます。
参加者の自社技術を開示することはありません)

*プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

